

大学生の生活支援から展開する 多世代協働の団地再生プロジェクト



桐生信用金庫

桐生市



- ▶ 代表者: 津久井 真澄
- ▶ 設立年月日: 1925年2月14日
- ▶ 資本金: 13億円
- ▶ 従業員数: 484人
- ▶ 住所: 桐生市錦町2-15-21
- ▶ TEL: 0277-44-8181
- ▶ URL: <http://www.shinkin.co.jp/kiryu/>

当金庫HPへは
コチラから→



企業紹介

金融業
東毛地区を中心に31店舗、2出張所、28の店外ATMを展開（令和3年4月1日時点）
創立100周年に向けた長期ビジョン「ALL FOR SMILE ～すべては笑顔のために～」の理念のもと地域の皆さまの夢や希望の実現に向けて、共に地域の未来を創るベストパートナーを目指しています。

経緯・背景

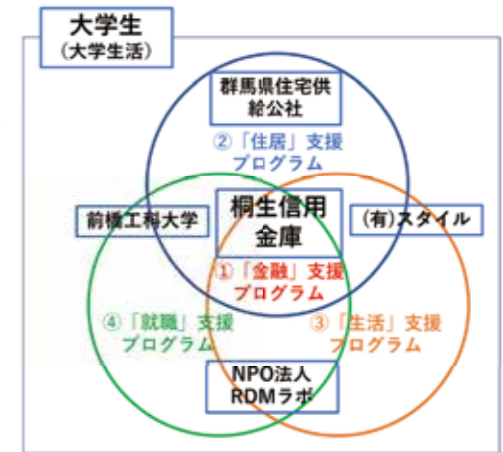
当金庫は、日本財団、信金中央金庫および全国信用金庫協会が連携して実施する「日本財団わがまち基金」を活用した地域創生支援スキームにおいて、前橋工科大学等との連携事業として申請した「大学生の生活支援から展開する多世代協働の団地再生プロジェクト」が採択され、令和2年12月1日より、本事業を開始しました。高齢化や少子化が進む団地の再生を通じて持続可能な社会の実現を目指します。



具体的な取組

当金庫、前橋工科大学、(有)スタイル、NPO法人リ・デザインマネジメント研究所、群馬県住宅供給公社等の関係者が連携して、大学生を「金融」「住居」「生活」「就職」の4つの面から支援するライフサポートプログラム（LSP）を行います。

- ①「金融」支援
大学生に対する金融リテラシーの醸成に努め、大学生の生活環境の基盤となる費用・資金などを一括管理
- ②「住居」支援
入居者自身による質の高い家具・室内空間の整備によるクオリティオブライフ（QOL/生活の質）の向上実現
- ③「生活」支援
多世代協働の暮らしによる地域コミュニティの構築として、2拠点シェアカー導入と敷地環境整備ワークショップ等による団地再生への取組み
- ④「就職」支援
当金庫の地域ネットワークを活用し、学生と地元優良企業とのマッチングの実施および移住者向け企業支援による定住の促進



LSPを受けた大学生が将来的には、高齢化や少子化が進む団地再生を行い、大学卒業後に、群馬県内で就職もしくは起業し定住者となることを目指します。



■本事業の愛称「リフォート」
LIFE+SUPPORTの造語です。



■質の高い家具・室内空間の整備



■大学生と団地住民との交流を目的とした様々なイベントを開催

成果・効果

本事業については、関係各所からの注目度も非常に高く、大学、企業、団体が連携を図ることにより、地域創生の推進、地域の課題解決および地域の明るい未来を実現することが可能であると考えています。今後は、本事業を他の地区にも拡大していくことで、地域の活性化を目指します。

当金庫にとってのSDGsと、その展望

当金庫はこれまでCSR活動として、環境保全活動、金融教育、ビジネスマッチングフェア、地域清掃ボランティア等、様々な活動を行ってきました。信用金庫の成り立ちや存在意義は、地域と共にあり続け地域の活性化に寄与することであり、まさにそれはSDGsの理念と一致すると考えます。当金庫では令和元年9月にSDGs宣言を公表しましたが、これまでの活動を継続しながら、関係団体等とのさらなる連携を図り、地域の活性化に努めたいと考えます。